

令和4年度小矢部市下水道事業報告書

1 概況

(1) 総括事項

本市の下水道事業は、市民の快適な生活環境の確保を図るとともに、公共水域の環境保全に寄与するものとして、より一層の市民サービスの向上に努めています。また、「汚水処理10年概成」に向けてより効率的に未普及解消に取り組むため、基本計画を見直し下水道整備の推進を図っています。

近年、人口減少や施設の老朽化など、下水道事業を取り巻く経営環境が厳しさを増す中、独立採算の原則に基づく経営が求められており、将来にわたって持続的な経営が厳しい局面にあります。

このような状況の中で限られた財源を有効に活用するため、経費の節減や事業の効率化を徹底し、経営の安定化及び健全化を図ってまいりました。

① 汚水処理及び整備状況

令和4年度末における処理区域内下水道人口は22,069人(前年度比0.2%増)、下水道普及率は77.5%となり、前年度より1.0%の増加となりました。また、年間総処理水量は2,377千 m^3 (前年度比1.2%増)、年間有収水量1,859千 m^3 (前年度比3.2%減)、不明水率は21.8%となり、前年度より3.6%の増加となりました。

現在の認可面積は986.4haで、そのうち整備済の供用開始面積は877.3haであり、整備率は特定環境保全公共下水道事業の進捗により88.9%で前年度より0.9%の増加となりました。

② 建設改良事業

令和12年度までの「汚水処理10年概成」を目指し、未普及地域での特定環境保全公共下水道事業として汚水管の布設を行うとともに、宅地造成等に伴い、公共下水道事業、特定環境保全公共下水道事業及び農業集落排水事業として汚水管の布設並びに公共ますの設置を行いました。

未普及地域での整備としては、埴生南部(蓮沼・道林寺・長)、荒川(岡・石王丸・芹川)、若林(金屋本江)、水島(胡麻島・下後壱・経田・内御堂)、津沢(蓑輪・興法寺・西島)、藪波(高木)地区で汚水管布設工事を行い、そのほか、マンホールポンプ設備工事及び舗装本復旧工事を行いました。また、西中野地内など市内一円において、宅地造成等による汚水管の布設及び公共ますの設置を行いました。

③ 財政状況

(収益的収支)

収入については、営業収益401,385,200円、営業外収益856,203,219円、特別利益4,387,571円で総額1,261,975,990円、支出は、営業費用1,095,003,551円、営業外費用150,686,595円、特別損失198,660円で総額1,245,888,806円、収支差引額は16,087,184円となりました。

(資本的収支)

収入は、企業債913,900,000円、他会計出資金263,013,000円、国庫補助金376,588,675円、負担金等77,190,664円で総額1,630,692,339円であり、支出は、建設改良費913,388,185円、企業債償還金1,183,338,804円で総額2,096,726,989円となり、資本的収入額(翌年度へ繰り越される支出の財源に充当する額69,019,794円を除く。)が資本的支出額に不足する額は535,054,444円となりました。

この不足額については、消費税等資本的収支調整額、繰越工事資金及び損益勘定留保資金をもって補填しました。